



## ① 2011年度 スローガン

国際会長	モットー	「WE SERVE」(我々は奉仕する)
334複合地区	スローガン	「奉仕の心をひとつにつなぎ 日本再生」
334-A地区	スローガン	「思いやりと熱き心で 感動の奉仕」
名古屋中村LC	スローガン	「広げよう明るく楽しい奉仕の輪」



## ② 理事会審議事項と結果

(第1号議案) 前回議事録確認

《承認》 P. 2 会 長 L 大竹 昌

(第2号議案) 第一副会長の件

《承認》 P. 3-4 接待、会則付則・情報委員長 L 加藤鋭吉  
会員・指導力育成委員長 L 鈴木和彦

- 1) 第一副会長L上野辞任に伴い、新たに第一副会長(次期会長候補者)としてL野々垣を推挙する。
- 2) 法要例会で使用している、物故者の写真サイズを変更して4枚入りを5枚入りとする。
  - ・ 仕事の関係上、こういった事について詳しいL吉川正にお願いしたい。
  - ・ 担当は会員委員会で、会員委員会に一任します。

(第3号議案) 新入会員の件(近藤靖様)

《承認》 P. 5-6 会員・指導力育成委員長 L 鈴木和彦

L野々垣のスポンサーで、先日会員委員会で面接をしました。今月の第二例会が名古屋太閤LCとの合同例会(ファイヤーフェスティバル)となっています。本日の理事会で承認を頂ければ、本日スケジュールが一杯ですが入会式を行いたいと思います。

- ・ スポンサーL野々垣 より

仕事仲間で20年来の付き合いがあります。非常に真面目な男で私がライオンズに入会した時からライオンズの話はしておりました。ちょっと遅くなりましたが今回入会の運びとなりました。

(第4号議案) 2月第一例会15分延長の件<2/1>

《承認》 計画・大会委員会 L 中川法恵

(第5号議案) 防火パレード予算の件<2/26>

《承認》 P. 7 社会福祉・公衆安全委員長 L 服部吉秀

(第6号議案) 次期地区役員変更の件(1R 環境保全委員)

《承認》 会 長 L 大竹 昌

前回議事録の第2号議案にあります次期地区役員(1R環境保全委員)について、執行部一任で承認を頂きL野々垣を地区役員としておりましたが、L野々垣が第一副会長になりましたので、代わりにL瀬尾に御願いました。

(第7号議案) 1) クラブ功労者表彰の件

《承認》 会 長 L 大竹 昌

名古屋ウエストLCの例会にLC国際会長が出席されます。LC活動に貢献したメンバーを1クラブ1名、国際会長から表彰して頂く事になり、名古屋中村LCからも1名選出して欲しいとZC・L赤見坂から連絡がありました。接待、会則付則・情報委員長L加藤鋭から推薦がありましたL河瀬を選出し、会長L大竹が代理で受け取る事にします。

2) 第二副地区ガバナー選出の件

会 長 L 大竹 昌

### ③ 例会報告

#### 第 931 回 例会 - 節分例会 -

2012年 2月 1日(水) 18:00 ~ 19:30 於:名古屋マリオットアソシアホテル 51F『ジュピター』  
出席者数: 33名 / 実行委員 L 中川法恵 / ファイン・ドネーション: 172,000円



#### \* 理事会審議事項議案を承認可決(継続審議事項も含む)

第931回例会は2/1名古屋マリオットアソシアホテル51階において、節分例会として開催されました。冒頭本日の実行委員L中川より、急遽例会場が17階「ルピナス」より51階に変更になったことにつき、お詫びと共に報告され、又、本日は新入会員の入会式を行うことで例会を15分延長したい旨を述べ承認された。お客様の甚目寺大徳院住職・堀江承元師の紹介の後議事審議事項に入り

- 1) 第一副会長L上野が病氣療養のため長期欠席となるので、新たに第1副会長にL野々垣を指名したことの承認
- 2) 新入会員近藤靖様の入会の承認
- 3) 防火パレードの予算の内前年と異なる部分、名鉄ヤング館前ステージの使用料が新たに必要になった(金額は5万円)ことの承認
- 4) 次期地区役員(1R環境保全委員)をL野々垣からL瀬尾に変更することの承認

以上4議案につき、承認を諮ったところ全員一致拍手を以って承認した。入会式に移り、スポンサーL野々垣より新入会員近藤靖様の紹介でスポンサーとの関係は、20年以上の友人関係でありライオンズクラブ活動に対するモチベーションの高い人であるとの説明がありました。又、L近藤は挨拶の中で初孫が誕生したとの報告があり、会場は若い祖父母の出現になんともいえぬほんわかとした温かみに包まれました。L近藤には、新しい血をクラブに注入し大いに活躍していただくことを全員が期待しているものと思います。

次いで前会長L高坂英夫にメンバーシップキーの伝達があり、又、LCIFに貢献したメンバーにピン及び楯の伝達が行われました。

節分豆まきは甚目寺大徳院・堀江承元師の指導で、今年の恵方は甚目寺であり北方を向き甚目寺式の豆まきにより、クラブの年男L後藤、L斉藤実、L村手、L吉川正の4名により無事エアードネーション行事は終了しました。

委員会報告では計画・大会委員長L中川より334-A地区第58回年次大会には、当クラブの30%の人員である12名の出席を要望するとの話があり、防火パレードについて社会福祉・公衆安全委員長L服部より注意とお願いがありました。又、ゴルフ部会長L高坂英夫からは4月には4つ程ゴルフコンペがあるが、ゴルフ部会の行事ではなく何れもクラブの行事であるので多数の参加を要望されました。

食事の後TT・L入山、例の通りドネーション提出者を規律させ、各自ドネーション提出の由来を会員に周知させました。

ライオンズローアは久しぶりに出席のL速水で、ユーモアのある挨拶で会員を笑わせ大きな声で一声、例会を締めくくりました。新任の第一副会長L野々垣の閉会のゴングで例会を終了しました。

例会場は何ともいえぬ温かみに包まれており、全員がリラックスし至福の一刻でしたが、岐路は時々小雪交じりの氷雨がちらつき何ともいえない冷たい夜道でした。

記: L 山梨一美

#### 第 932 回 例会 - 名古屋太閤LC合同例会 -

2012年 2月 26日(日) 12:15 ~ 13:15 於:安保ホール  
出席者数: 18名 / ファイン・ドネーション: 193,500円



昨年より引き続き名古屋太閤LCとの合同ACT「ファイヤーフェスティバル」の後、合同例会を安保ホールで行いました。

両会長挨拶の後、ゲストビジターの1R ライオンズクエスト・薬物乱用防止・レオ委員L織田昌幸よりご挨拶がありました。幹事報告の後、20分程食事の時間となりました。TTタイム、出席率の報告、ライオンズローアに続き、両会長による閉会のゴングで終了となりました。

ところで、今回安保ホールの案内掲示板及び例会案内が名古屋太閤LCとしか書かれていなかったことが少しさみしく感じました。

記: L 野々垣徹

#### ④ 各委員会からの報告・幹事報告

##### 報告事項

1) 接待、会則付則・情報/会員・指導力育成合同委員会開催について<2/1>

会 長

L 大竹 昌

接待、会則付則・情報委員長

L 加藤鋭吉

本日例会の後、次期第二副会長選任の件で委員会を開催します。

2) 334-A地区第58回年次大会について<5/19>

別紙

計画・大会委員長

L 中川法恵

名古屋中村LCメンバー42名に対して3割の出席を御願いたいとキャビネットから要請が来ています。出席メンバーが達しない時は御願する事になりますので、その時はご協力の程宜しく御願います。

3) 防火パレードについて<2/26>

P8及び別紙

社会福祉・公衆安全委員長

L 服部吉秀

ACTベストと帽子着用で御願います。

12:15から安保ホールにて例会を行ないます。

時間に間に合うようにファイヤーフェスティバルのタワーズガーデンから速やかに移動してください。

4) 1R2Z合同親睦チャリティゴルフコンペについて<4/11>

別紙

ゴルフ部会長

L 高坂英夫

4/11(水)レイクグリーンGCにて第38回1R2Z合同親睦チャリティゴルフ大会が開催されます。

12名の参加要請が来ております。多数の御参加を御願います。

また、3~4月にたくさんのゴルフコンペの案内が来ています。1枚の用紙にまとめてみました。

奮って御参加下さいます様、宜しく御願います。

3/14(水) 名古屋太閤・名古屋中村LC合同コンペ

東名古屋CC

4/4(水) 名古屋中村・松本中央LC合同コンペ

スプリングフィールドCC

4/5(木) 愛知ひまわりLC 第1回臍帯血支援チャリティゴルフ大会 小菅チェリークreekCC

名古屋中村LCもCN40の時に各クラブにいろいろ参加を御願する事になります。

他クラブの事だからと思わず、是非とも参加の御協力をお願いします。

##### 幹事報告

報告はありません。

##### その他

ZC・L赤見坂からタイ洪水義捐金御礼の報告とタイLCからの御礼状と領収書を頂きました。事務局にて預かっております。

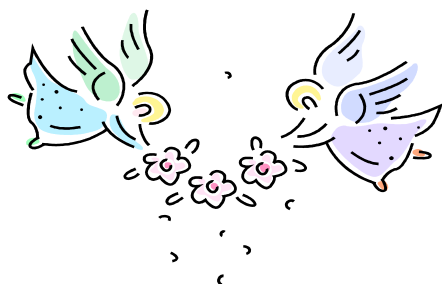
#### ⑤ 会員情報

##### ★ 祝誕生日 ★

3月 4日 L 渡辺真史  
3月 19日 L 柴田良市  
3月 25日 L 堀江泰史  
3月 31日 L 吉川 磯

##### ★ 祝結婚記念日 ★

3月 3日 L 横畑五夫 LL ゆう  
3月 4日 L 田中光男 LL 芳子  
3月 13日 L 高木靖之 LL 加奈子  
3月 16日 L 渡辺真史 LL 美幸  
3月 21日 L 後藤一夫 LL まさえ  
3月 24日 L 服部吉秀 LL 順子  
3月 26日 L 安藤健二郎 LL 泰子  
3月 30日 L 中島光利 LL 純子



## ⑥ ACT報告

2月のACT



◆ 2月26日(日)  
 名古屋太閤LC主催 ファイヤーフェスティバル(防火パレード) (未確定) 円  
 10:30 ~ 12:00 於: 旧名鉄ヤング館前 他  
 出席者数: 19名



- 10:30~10:45 開会式  
 1) 挨拶……中村消防署長、名古屋太閤LC会長  
 2) 一日消防官防火宣言……BS・GS代表者
- 10:50~11:05 防火パレード  
 旧名鉄ヤング館～名鉄百貨店(東側)～タワーズガーデン
- 11:15~12:00 ファイヤーミュージックステーション  
 1) 防火・防災ミニステージ「住宅用火災報知機PR」  
 2) 消防音楽隊による演奏及びリリーエンゼルスのフラッグプレイ  
 3) 広報資料等の配布……クラブメンバーにて  
 4) 消防団員募集広報……消防団

### 《目的》

春の火災予防運動の一環行事として防火パレード・コンサート等を開催し、消防行政に対する市民の理解と防火・防災意識の高揚を図り、安全で安心なまち中村区を目指すものとする。

### 《対象者》

名古屋駅付近一帯住民及び利用者

### 《参加者》

中村消防署、名古屋太閤LC、名古屋中村LC、消防音楽隊、リリーエンゼルス、新明・六反・牧野各学区の防災安心まちづくり委員会及び消防団、BS、GS 約160名

### 《参加車両》

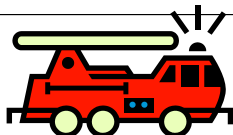
はしご車、査察車、オープンカー2台

春の火災予防週間(3/1~7)を前に、防火や防災への意識を高める「ファイヤーフェスティバル」を26日、中村区の名古屋駅周辺で行った。1日消防官に任命された岩田くん(10)松本さん(10)が『防火・防災に関心を持ち、安全で安心のまちづくりに努めます』と防火宣言をした。

参加した160名が笹島交差点付近からJRセントラルタワーズ前まで消防音楽隊他はしご車とパレード、通行人に防災を訴えた。

パレード後はタワーズガーデンで音楽隊の演奏やミニステージがあり、住宅用火災報知機設置を呼び掛けた。

社会福祉・公衆安全委員長: L 服部吉秀



## ⑦ 再び児童養護施設について 職員の思い / 児童の思い

児童養護施設については、当クラブ会報12月号にて制度的面から、接待、会則付則・情報委員会より詳細な解説説明記事が提供されました。この記事により制度的、ハード面に就いては、よく理解できたと思います。児童養護施設における生活教育について最近読んだ『同志社時報』(学校法人 同志社の広報誌、4月、10月 年2回発行)の2011年10月発行132号の中に児童養護施設 施設長へのインタビュー記事が掲載されていました。この記事の中で我々が知りえなかった施設の先生の苦労、悩みや思い、又、施設の児童の思い等、切々と語られておりました。この記事は我々にとっても重要な示唆を与えるものと思われましたので、発行者の許可を得てその一部を引用させていただきます。

### ◎ INTERVIEW/ 地の塩・世の光

桑原教修さん ■ 児童養護施設 施設長



(くわはら のりひさ)

1945年鹿児島県生まれ。1967年同志社大学神学部卒業。

「児童養護施設舞鶴学園」児童指導員を経て89年より同施設長。

2001年に舞鶴市泉源寺立田の現在地へ法人を移転。

児童養護施設を大舎制から小舎制へ移行とともに保育所「タンポポハウス」を設立。

05年児童家庭支援センター「中丹子ども家庭センター」設立。

現在、全国児童養護施設協議会副会長、京都府児童福祉施設連絡協議会会長、小舎制養育研究会理事などを務める。

さまざまな問題を抱えた子ども達を支援

人によって傷つけられたことは人によって癒されて回復されなくてはならない

「児童養護施設舞鶴学園」は、小舎制という画期的な養育システムを取り入れ、家庭など様々な問題を抱えた子どもたちを育てています。そこで子ども達の日常と職員の方々の献身的な取り組みを記録したドキュメンタリー番組「映像08家族の再生-ある児童養護施設の試み」は、大きな反響を呼びました。全国の施設関係者の研修、見学が絶えないという舞鶴学園を訪問し、施設長である桑原さんに小舎制の意義や半世紀近く児童養護に携わって来られた歩みについて伺いました。

### ◎ 育ちの過程を修復し、自立するための力を蓄える

---なぜ小舎制を採用されたのですか。

桑原 基本的に人の生活は衣食住じゃないですか。衣食住の家庭生活の中でいろいろなことを学びながら自立の力を蓄える。そういう育ちの過程を保証されていない子どもたちは、そこから修復にかからなければならぬ。それは特別なメニューを作ってしまうのではなく、「育ち直し」をするしかないんです。いまネグレクトで放っておかれた子どもなどが来ていますが、何にも身に付いていない。自分を律することもできないし自己肯定感も低い。そういう子どもたちが自信を持って歩んでいくためには、いろんな手当が必要なんです。その基本になるのは暮らし。暮らしの中には智慧や英知がいっぱい詰まっている。だから暮らしをしっかりと積上げていく、何気ない穏やかな日々の生活をこの子たちに体験させることだと。

それと、大舎制のなかで長く暮らしていると子どもは集団のなかで要領よく立ち回れることはできても、一歩二歩踏み込んだところで人との関係性を作る力が備わらない。少人数の生活空間では互いに踏み込まないと暮らしていけないし、踏み込まれても受入れないと暮らしそのものが成り立たない。相手の子どもに起こる家庭や学校の問題を引き受けて行かないと自分も受入れてもらえない。

残酷だけれど、そういう経験をしないと自分が結婚して家族を持ったときに窮屈に感じたりするだろうし。それで小舎制にしたのです。



---「育ち直し」をするための場だということですね。

桑原 以前、施設では生活のなかに演劇を取り込んでいました。家庭劇を通していろんなことを学んでほしいという意図で。ところが、お父さん役、お母さん役を与えても子ども達はできないと泣き出してしまふ。台詞のなかに親の愛を伝えるメッセージが含まれている、その台詞を何で感情を込めて言えないのかと迫っても、子どもたちは「言えない」と。家庭生活を経験していないから親がどういうものか分からないんです。両親は朝起きるといなくなっていた。家族を教えてくれるのは先生しかいないじゃないか。「家族の勉強を教えてください」と作文で訴えてきた子もいました。

---一人ひとりが厳しい背景を背負っているのですね

桑原 ええ、お母さんに精神障害があつて、産まれてすぐに乳児院に預けられ、そこから養護施設に来て、18歳までずっと施設で育った子どもがいました。規定で、子どもは高校を卒業すると施設を出て自立しなければならない。とはいえ、いきなり自炊しろと言われてもできるわけではない。当時は厨房で作られた食事が出てきてそれを食べるという生活でしたから、食材の買い物もしたことがないし、食材すら知らないわけです。その子は保育士が食事を作る姿を見て、普通の人はこちらのを見ながら生活しているんだなあ、でも私は親がご飯を作っているところを見たこともないし、自分で作ったこともない。このままで大きくなるのは不安だ、自分が結婚して子どもができたとき何にもできないでは困ると訴えてきたんです。それで一人暮らしを始める前に部屋や台所、トイレまで特別に作って自立のための練習をさせたのですが、結局力をつけてやることはできませんでした。

それでもその後、その子は頑張つて自立しました。やがて結婚して子どもができて、会いに来てくれたんです。実はそのときのシーンが衝撃的だった。彼女に付き添ってきた同じ学園の卒業生が、「先生、〇〇さんは自分の子に何にも話しかけないよ。黙って抱いているだけなんや」と言うわけ。そしたら、その子が「だって、何を言うたらええかわからへんもん」と。ああ、そういう経験を何にもしてないんだ。普通の家庭に育てば親や親戚が子どもをあやしている姿を見るだらうし、見よう見まねで学んでいくんだらうけれど、そんな経験をこの子たちはしていない。経験していないことはできないよなど。僕はそれまで施設で「家族を教える」ということは考えていなかったんですが、そういう経験をして、「家族の勉強」が必要だと強烈に感じたんですよ。



---子どもたちの暮らしぶりはドキュメンタリー番組にも取り上げられました。

桑原 現在、施設に入ってくる子どもの99.9%は虐待を受けていた子ども。そういういろんな課題をもってここにやってきた子どもたちを守っているのは若い職員です。子どもたちを何とかしたいと志を持ってやってくる若い人たちです。とはいえ、そういう子たちと向かい合うというのはケースによっては凄まじい。身体に虐待を受けた子どもは、自分が受けた行為をそのまま職員に仕返すので職員も吹っ飛ぶこともある。でも、それを通らないと自分が取り戻せないから本人も苦しみながらやります。子どもたちは一番身近な大人である親を信頼できない。子ども時代を経験し直しながらそこを修復する過程ですからそれは大人が引き受けて受け止めてやらなくてはならない。人によって傷つけられたことはひとによって癒されて回復されなくてはいけない。そのことを社会は知るべきだと考えたんです。

桑原施設長は地域の子育ての拠点を作るため、「認可保育園タンポポハウス」「中丹こども家庭センター」を開設し、24時間体制の施設という利点を生かして、当直や病気、出産などで親が世話をできない時に子どもたちを預るショートステイを始めました。このことは地域の支援に成るし、一方では児童養護施設と地域との垣根を取り払うことにもなりました。社会は、施設の子どもたちを一般の子ども達以下に置こうとしいじめが起きます。学園が移転するときに強烈な反対運動が起こったそうです。それは、正しい情報が伝わってなくて不安をかき立てられたからだそうです。在宅支援をすると多くの人々が学園の日常に触れることになり、それで次第に、施設で暮らしている子どもたちに対する理解が深まり学園に対する意識も変化していったそうです。いまは家庭がもろくなってきていて、施設で生活している子どもたちの背景とほとんど変わらない。養護施設にくる子どもたちの家庭が特殊なのではない。そういう意味で、逆に施設が家庭のモデルになれるのではないかと。施設だからこそできることも多い。地域の家庭のモデルになるような豊かな日常を組み立てていく、それが目標だと述べています。

桑原さんは、学生時代からずっとボランティアとしてここに通っていたそうです。あるとき、子どもたちに「どうせ桑原さんは卒業したら他所に行ってしまうでしょ」と詰め寄られたんだそうです。子どもたちと深く関わるにつれてここを離れるわけにはいかないと思うようになったそうです。ずっと後のことだそうですが学園に匿名の寄付があって、調べると贈り主は当時桑原さんに詰め寄った子どもの一人だったそうで御主人が亡くなり、その遺族年金を送ってくれていたんだそうです。それで久しぶりに会って、ああ当時の子どもたちのエネルギーに引っ張られて自分はここにきたんだ、彼らとの出会いがあって自分がいまここで生かされているんだとしみじみ思ったそうです。

最後に桑原さんは、施設の子どもたちには大学に進学するための支援制度がまったくない。子どもたちの置かれている状況を行政も市民ももっと理解して、そういう制度を作ってもらいたいと強く望んでおられます。又、有難いことに舞鶴学園には、日常的に応援して下さる「タイガーマスク」がたくさんおられる。支えて下さる方々の思いを大切に、さらに充実したものにしていきたくと思っています。

とインタビューを終わっています。

PR・IT委員長: L 山梨一美



## ⑧ 次回例会案内

<b>第 934 回 例会</b>	
2012年 3月 21日(水) 8:00 ~ 9:00	
於: 中村公園	
※ 早朝例会	
<b>第 935 回 例会</b>	<b>第 936 回 例会</b>
2012年 4月 4日(水) 18:00 ~ 19:15	2012年 4月 15日(日) 11:30 ~ 13:00
於: 名古屋マリオットアソシアホテル	於: ホテルアンビシア松風閣
※ 選挙会/松本中央LC合同	※ 春の家族例会

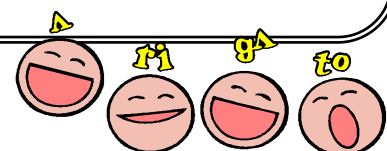
PR・IT委員会より  
メンバーの皆様へ



PR・IT委員会ではメンバー各位からの投稿をお待ちしております。

旅行記・随筆・短歌・俳句・クラブ運営・ACTに対する意見、その他何でも結構です。

楽しい会報が出来ますよう、ご協力をお願い申し上げます。



☺ 事務局より穴埋め投稿 ☺

お世話になっております。事務局員のSです。今回は紙面に余裕があるとのこと、差し出がましくも投稿させて頂きました。早速ですが、私物より写真を2枚↓



ウン十年……もとい、ほんの少し前の、名古屋中村LC・クリスマス例会の一幕です。古い写真の為画質も粗く見づらいかと思いますが、現在でも在籍中のメンバー様が(お顔が確認出来る範囲で)3名写っておられます。これは私がまだ片手くらいの歳の頃の写真ですが「サンタブーツのお菓子がもらえる日!」と、楽しみにしていたのを覚えています。実のところ、ライオンズクラブがどのような団体なのかを認識したのは、事務局員としてお世話になってからのことでした。

尚、本誌はモノクロコピーの印刷物として配布させて頂いておりますが、クラブホームページでは全てカラーで掲載しております。色合い的にも懐かしさ満点の写真ですので是非下記URLへアクセス下さいませ。

以降は全くの余談となりますが、今回投稿するにあたり写真を見直したところ、後ろの列に実姉らしき姿が確認出来ました。お気に入りの写真なのに、今頃になって気付いたうっかり者です。新しい発見をありがとうございます。

メンバーの皆様の懐かしのお写真+コメントもお待ちしております。お気軽にご投稿下さい♪



名古屋中村ライオンズクラブ

2012年 3月 4日 発行

〒460-0003 名古屋市中区錦3-8-14 名電ビル4F

ホームページ: <http://lions-c.jp/nakamura/>

■ 会 長	L 大竹 昌	■ 第一副会長	L 野々垣徹
■ 幹 事	L 野々垣徹	■ 会 計	L 瀬尾昌信
■ PR・IT委員長	L 山梨一美		